

て、本博覧会の周知と更なる機運の醸成を目的として、博覧会を象徴するロゴマークを広く一般より公募します。

【本博覧会のテーマとコンセプト】

- ・ テーマ
 幸せを創る明日の風景

- ・ コンセプト
 環境共生社会への挑戦
 自然資本と技術の融合
 風景・景観の最適化（リ・デザイン）

【応募受付期間】

2022年10月20日（木曜日）正午～11月5日（土曜日）正午

※応募方法等の詳細につきましては下記URLを参照してください。

「2027年国際園芸博覧会公式ロゴマーク公募サイト」（外部リンク）

<https://expo2027yokohama-logo.jp/#intro>

「2027国際園芸博覧会のPR協力者募集！」（横浜市HP）（外部リンク）

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/engeihaku/logopr.html>

「2027年国際園芸博覧会」（農林水産省HP）

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/f_yokohama/yokohamahaku.html

【お問合せ先】

- ・ 2027年国際園芸博覧会公式ロゴマーク公募事務局
 電話番号：0120-202765（9～17時 土・日・祝日を除く）

- ・ 農林水産省農産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室
 代表：03-3502-8111（内線4827）ダイヤルイン：03-3593-6496

○ 「令和4年度 全国優良経営体表彰」の発表について

農林水産省及び全国担い手育成総合支援協議会は、意欲と能力のある農業者の一層の経営発展を図るため、昭和61年から、農業経営の改善や地域農業の振興・活性化に優れた功績を挙げた農業者を表彰しています。

この度、経営改善、生産技術革新、6次産業化、販売革新、働き方改革、担い手づくりの各部門における、農林水産大臣賞、農林水産省経営局長賞及び全国担い手育成総合支援協議会会長賞を決定（計51経営体）し、京都府からは以下の生産者が選定されましたのでお知らせします。

【経営改善部門】

全国担い手育成総合支援協議会会長賞

京都府亀岡市 有限会社 亀岡牛人見畜産

※詳細につきましては下記URLを参照してください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/keiei/221007.html>

【お問合せ先】

・農林水産省 経営局経営政策課

担当者：有川、黒田

代表：03-3502-8111（内線5140）ダイヤルイン：03-3502-6441

・全国担い手育成総合支援協議会事務局

（一般社団法人全国農業会議所経営・人材対策部）

担当者：黒谷、村上、小嶋

電話：03-6910-1124

○ フードテック官民協議会ビジネスコンテストのエントリー受付を開始します

世界的に消費者の健康志向や環境志向等、食の価値観が多様化している中で、フードテックを活用した新たなビジネスの創出に関心が高まっています。このため、農林水産省は令和2年10月に立ち上げた「フードテック官民協議会」に設置した作業部会での専門的な議論を通じ、食に関する課題の解決や、フードテックを活用した新たなビジネスの創出に向けた官民連携の取組を推進しています。

この度、その一環として、フードテックの認知度向上と本分野における新ビジネスの創出を目的として「未来を創る！フードテックビジネスコンテスト」を開催し、食に関する社会課題を解決するビジネスアイデアを、本日より個人・企業の皆さまより幅広く募集します。

【募集期間】

令和4年10月3日（月曜日）～令和4年11月18日（金曜日）24時00分

※募集要領、応募方法、応募に関する詳細は、以下のURLをご確認ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/kikaku/221003.html>

「フードテック等を活用した持続可能な産業育成」農林水産省HP

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sosyutu/foodtech.html>

「未来を創る！フードテックビジネスコンテストの開催について」（外部サイト）

<https://foodtech-evolve.jp/business-contest/>

【お問合せ先】

農林水産省新事業・食品産業部企画グループ

担当者：井戸、片瀬、平野

代表：03-3502-8111（内線4350）ダイヤルイン：03-6744-7181

- 「アグリビジネス創出フェア2022『産学官連携イノベーション』～スタートアップ創出元年～」 の開催について

農林水産省は、東京ビッグサイトにおいて、農林水産・食品産業分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア2022」を開催します。

本年度は、全国の130の研究機関が最新の研究成果を出展するとともに、各分野の有識者による講演や、農林水産省において令和4年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」の推進やスタートアップの創出に関連し、様々な企画を行います。

【開催日程及び会場】

日程：令和4年10月26日（水曜日）～令和4年10月28日（金曜日）

（3日間とも午前10時00分開場、午後5時00分閉場）

会場：東京ビッグサイト 西1ホール

（所在地：東京都江東区有明3-11-1）

※参加方法等に関する詳細は、以下のURLをご確認ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/221003.html>

【お問合せ先】

- ・事業全般について

農林水産技術会議事務局研究推進課産学連携室

担当者：徳田、宮本、五島

代表：03-3502-8111（内線5898）ダイヤルイン：03-6744-7044

- ・イベント（参加手続や出展ブース・セミナー）について

アグリビジネス創出フェア2022事務局（株式会社フジヤ内）

担当者：三ツ石、小松

電話：03-3533-5522 E-mail：agri-ex@fujiya-net.co.jp

- 秋ならではの日本茶の楽しみ方を大募集！～「毎日お茶のある暮らしキャンペーン（秋バージョン）」～

お茶は日本人の生活と文化になくてはならないものです。令和3年の輸出額が204億円を突破し過去最高を記録するなど、海外からの注目度は高まっている一方で、消費量・産出額ともに減少傾向が続いています。

そこで、農林水産省は、国内の消費者の方々が普段の生活の中でより一層お茶を楽しんでいただけるよう、本年4月15日から公益社団法人日本茶業中央会等の関係機関や事業者の皆様と連携し、「毎日お茶のある暮らしキャンペーン」を開始しました。

今回は、秋も深まるこの時期ならではの、栗や柿といった果物やこれらを使用した和菓子・デザートなど、秋の味覚と日本茶を組み合わせた楽しみ方を募集し、消費者に向けて情報発信を行います。

【キャンペーン内容】

この度、キャンペーン第三弾として、日本茶と秋の味覚を組み合わせた日本茶の楽しみ方に関する様々な情報を募集し、キャンペーン特設サイト等で発信します。

(1) 募集内容

本キャンペーンにご賛同いただける生産者、事業者の皆様（茶専門店、食事処、レストラン、カフェ、ドリンクスタンド、お茶飲料関係事業者、和菓子・洋菓子関係事業者等）から、以下の情報を募集します。

- (ア) 日本茶への応援メッセージ
- (イ) 秋の味覚と組み合わせた日本茶の楽しみ方の提案記事
- (ウ) 機能性成分をはじめお茶のもつ魅力をつづった記事や動画

(2) 応募方法

応募は随時受け付けております。以下の宛先にメールにてメッセージ、記事等をお寄せください。

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

メールアドレス：nihoncha_kurashi@maff.go.jp

電話：03-6744-2194（直通）

（画像などが約5メガバイトを超える場合は圧縮などしてお送りください。）

※詳細につきましては、以下のURLをご確認ください。

「プレスリリース」(農林水産省HP)

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/tokusan/221006_5.html

【お問合せ先】

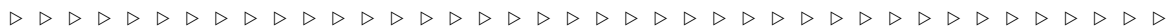
農林水産省 農産局果樹・茶グループ

担当者：皿谷、末口、吉野

代表：03-3502-8111 (内線4794) ダイヤルイン：03-6744-2190



メール情報の配信停止・配信先変更ご希望の方は、その旨を記載し、このメールに返信願います。



近畿農政局 地方参事官室 (京都府担当)

〒602-8054

京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町

TEL：075-414-9015

FAX：075-414-9057

E-MAIL: kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp
